

第45回(2023年度)公益財団法人 石本記念デサントスポーツ科学振興財団学術研究募集

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当財団の事業運営に関しまして格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、石本記念デサントスポーツ科学振興財団学術研究募集もお蔭をもちまして順調に推移し、この度、第45回の募集を行う運びとなりました。

つきましては、スポーツ関連科学に関する学術の研究を奨励・援助し、健全な体育・スポーツの振興・発展に寄与するため、2023年度スポーツ科学学術研究公募を下記の要領にて実施いたしますので、多数ご応募頂きますようお願い申し上げます。

募集は二部に分け、第一部は、より時代を先取りした研究を奨励するために当財団の定めたテーマによる課題学術研究への助成、第二部は、自由課題による学術研究への助成といたします。

なお、当財団の研究助成の大きなねらいは、いわゆる高度にアカデミックなものというより現実に役立たせ得る研究に焦点をおいているということと、明らかな疾病に対する運動療法的なものよりも健康者もしくは半健康者の積極的な健康増進を意図するものを優先する立場をとっていることを念のため申し添えさせていただきます。

敬 具

2022年6月

公益財団法人 石本記念デサントスポーツ科学振興財団

学 術 研 究 募 集 要 項

主 催 者 公益財団法人 石本記念デサントスポーツ科学振興財団
THE DESCENTE AND ISHIMOTO MEMORIAL FOUNDATION
FOR THE PROMOTION OF SPORTS SCIENCE

応 募 資 格 ① 体育学、健康科学、人間工学、被服科学、運動施設工学等健康の増進と体力の向上に関わる学術、およびその他スポーツ振興に寄与する学術研究に関する講座を持った大学、およびこれに準ずる研究機関に所属する個人またはグループ。
② 高校生から幼児までの教育機関に奉職しており、①に前述した分野で研究または調査活動を積極的に行っている個人またはグループ。
この場合、運動生理学的研究でなくとも、あくまで教育現場に於ける身近なテーマで、すぐにも役立つ研究テーマを求めている。
但し、研究報告等に不慣れな人は、報告書作成に習熟した人を共同研究者に加えて申請のこと。
③ eAPRIN などの研究倫理教育を修了していること。

学術研究テーマ 第一部 課題学術研究
本年度テーマ

- ① 「暑熱環境下における運動パフォーマンスサポートまたは快適性を実現するウェア、用品に関する研究」
年々過酷さを増す夏の環境下において、スポーツウェア、用品における暑熱環境下での運動パフォーマンスサポートまたは快適性を実現する幅広い視点からの提言を頂きたい。
- ② 「運動時におけるウェアの快適性実現の手法、あるいは快適性を定量化する新たな手法や指標に関する研究」
運動前、運動中、運動後において、また外部環境により衣服内の環境は温度、湿度、発汗などにより大きく変化する。スポーツウェアの快適性を幅広い領域に対して実現する手法、ならびに快適性に寄与する機能性の新たな定量方法や指標に関する提言を頂きたい。
- ③ 「運動時のウェアの快適性と皮膚感覚に関する研究」
皮膚感覚には触覚、圧覚、温覚、冷覚、痛覚などが存在するが、より快適なウェアを設計するために、運動時に衣服が着用者に与える物理的な感覚による影響やそのメカニズムを把握する必要がある。
運動時に衣服が与える皮膚感覚に関する基礎的な研究として、例えば環境による違いや身体上の部位差、性差、年齢差など、運動時の快適なウェア設計のための基礎となる情報を提示いただきたい。
- ④ 「ウェアによる身体の動かしやすさへの影響に関する研究」

アスリートがパフォーマンスを最大限発揮するため、あるいは一般の方がより快適に運動するために、身体の動かしやすさは必要不可欠であるが、動かしやすさを定量的に評価した研究事例は少なく、その要素も明らかになっていない。

身体の動かしやすさを評価する方法の提案、衣服圧や生地との摩擦抵抗との関連性など、様々な視点から動きやすさに関する提言をいただきたい。

第二部 自由課題学術研究

本財団の主旨に添ったものであり、申請者がこれまで行って来た研究を助成することによって、調査・研究の発展・充実が期待されるものであること。

応募方法： **本年度の公募締切日は2022年8月5日です。**

応募者は、所定の申請書に研究テーマ、分野区分①～④ A～I、目的、内容および期待される成果等を簡潔に書き、2022年8月5日までに書面にて下記宛提出すること。

(申請書は所定用紙または当財団ホームページよりダウンロードし、A4サイズに出力して提出すること。自作や45回申請書以前の用紙の使用は認めない)

(応募書類 送付先
資料の請求および問い合わせ)

〒567-0086 大阪府茨木市彩都やまぶき2-3-2 デサント ジャパン(株) DISC OSAKA 内
公益財団法人 石本記念デサントスポーツ科学振興財団 編集局
TEL 080-4027-4058 TEL 080-1499-1719
ホームページアドレス <http://www.descente.co.jp/ishimoto/>
E-mail zaidan@descente.co.jp

助成者の
入選内定通知： 研究助成の対象として採択された研究者に対し、当財団より書面にて本人宛通知する。
(2022年11月下旬の予定)

なお、入選されなかった方には、12月下旬までに本人宛通知する。

助成金の交付： 第一部「課題学術研究」
入選100万円(研究期間別途設定、件数2～4件)を予定

第二部「自由課題学術研究」
最優秀入選100万円(2～3件)、優秀入選50万円(17～18件)合計20件を予定

受賞者は、2023年2月に贈呈式にて発表し、助成金は、3月31日までに交付する。

なお、研究助成は個人またはグループを対象とし、所属機関の間接経費、一般管理費は助成の対象にしない。

報告書の提出： 選考の結果、助成金の交付を受けた者は、所定の様式で原稿用紙550字詰22枚前後(図表類を含む)の研究成果報告書(Abstractを含む)を下記期日までに当財団に提出すること。提出された報告書は、当財団の学術委員が査読を行ない、その結果再考・検討を依頼することがある。
第一部 研究期間により別途設定(研究期間が複数年となった場合には、A4サイズ2枚程度の中間報告書を提出)
第二部 2023年6月30日
また、同時に研究助成金使途報告書を提出すること。詳細は入選者に別途通知する。

留意事項： ①研究結果の報告を主とした場合でも何等かの結論や主張を体系的に述べること。
また、客観性を具えた内容と記述であるよう留意すること。
②原則としてテーマは、一度の報告で結論、主張がまとめられること。
(Part I、Part II、または第1報、第2報の形式は採用しない)
③第二部自由課題学術研究は入選内定より報告書提出まで、短期間(約7ヵ月)のため、新たに研究を開始するのではなく、これまで実施してきた研究に助成することにより、発展または充実が期待される内容であること。
④申請書に記載の研究課題や応募者名および共同研究者名は入選以降は変更できない。
共同研究者については、共同研究者としての記載について事前に合意が得られていること。
共同研究者が多数となる場合でも、共同研究者の記載は4名以内とする。
やむをえない事情により共同研究者に変更が生じた場合には、理由を説明し、当財団の承認を得ること。

- ⑤応募は、研究者1名につき1件のみとする。
- ⑥研究助成金交付申請書の提出にあたり、記載漏れ、押印漏れがないように注意すること。記載漏れがある場合、所定の期日までに修正されない場合受理しない。
- ⑦学歴及び職歴欄は10行以内にまとめること。
- ⑧推薦者欄は記入必須。推薦者の規定は特になし。

- そ の 他 :
- ①第二部の研究成果の報告書は、学術委員による査読を行った上、査読付き論文として2024年3月発行予定のeジャーナル「デサントスポーツ科学」45巻及びJ-STAGE、国立大学法人信州大学繊維学部が運営する「産学連携情報提供支援データベース」に掲載する。但し、論文掲載については、審査を行い決定する。(第一部入選研究については研究期間により掲載年度を決定)
 - ②研究助成の対象として採択された研究課題に対する助成金の配分は、当財団において決定する。
 - ③入選者より提出された成果報告書の著作権は、本財団に帰属する。当該報告書の他への発表は、必ず当財団の承認を得た上、「デサントスポーツ科学45巻」より引用の旨を併記すること。また、「デサントスポーツ科学45巻」発行以前に他への発表は差し控えること。(第一部入選研究については掲載巻を記載すること)
やむを得ない場合には、必ず事前に当財団まで連絡の上、財団事務局の指示に従うこと。
 - ④申請書への内容記入は、鉛筆ならびに、フリクションボールの使用は不可とする。
 - ⑤申請書提出後、所属機関および自宅の住所、電話番号など変更の場合は、速やかに書面で当財団編集局まで連絡のこと。
 - ⑥研究テーマは、下記の項目に従って分類し、申請書の※分野欄に分野のみ該当記号を記入すること。

第一部 分野

- ①「暑熱環境下における運動パフォーマンスサポートまたは快適性を実現する手法に関する研究」
- ②「運動時におけるウェアの快適性実現の手法、あるいは快適性を定量化する新たな手法や指標に関する研究」
- ③「運動時のウェアの快適性と皮膚感覚に関する研究」
- ④「ウェアによる身体の動かしやすさへの影響に関する研究」

第二部 分野

- A：スポーツと安全 B：運動生理 C：バイオメカニクス
D：医療・看護 E：トレーニング F：食物・栄養
G：用具・被服 H：体育活動調査 I：障がい者スポーツ 注1

注1：障がい者スポーツ・・・障がい者スポーツの普及・発展を目的とし、障がい者スポーツ医学研究、及び関連する衣服・器具等の研究、調査を対象とする。

- ⑦申請書は選考事務に支障なきよう、A4サイズにて印刷すること。
- ⑧「デサントスポーツ科学」はその内容を当財団ホームページから公表する。
- ⑨研究成果報告書について
報告書の内容がタイトル、実験内容、研究者などで公募時の研究助成金交付申請書の内容と著しく異なる場合、論文の不掲載や助成金の返還を求めることがある。
研究成果報告書を完成できなかった場合は、助成金全額もしくは一部の返還を求める。
万が一研究助成金の不正使用、または研究論理に反する行為が発覚した場合は、研究成果報告書提出の有無にかかわらず助成金全額の返還を求める。
上記のいずれの場合も研究継続が困難となった事情を配慮した上で、当財団において、論文の不掲載、電子ジャーナルへの理由の掲載、応募資格の停止(5年)を決定する。

学 術 委 員 会
(順 不 同)

委員長 川原 貴 (一般社団法人 大学スポーツ協会 副会長)
委員 井上 真理 (神戸大学 大学院 人間発達環境学研究所 教授)
委員 緒方 徹 (東京大学医学部附属病院 中央施設部門
リハビリテーション部 教授)
委員 押田 芳治 (名古屋大学 名誉教授)
委員 梶原 莞爾 (信州大学 繊維学部 繊維学部コーディネータ)
委員 上條 正義 (信州大学 繊維学部 教授)
委員 佐藤 祐造 (名古屋大学 名誉教授)
(一般社団法人 健康評価施設査定機構 理事長)
委員 島崎 恒藏 (日本女子大学 名誉教授)
委員 下光 輝一 (公益財団法人 健康・体力づくり事業財団 理事長)
(東京医科大学 名誉教授)
委員 下村 吉治 (中部大学 応用生物学部 食品栄養科学科 教授)
委員 田島 文博 (和歌山県立医科大学 リハビリテーション医学講座 教授)

委員 田畑 泉 (立命館大学 スポーツ健康科学部 特任教員 教授)
委員 田村 照子 (文化学園大学 名誉教授)
委員 永富 良一 (東北大学 大学院 医工学研究科 教授)
委員 西村 太良 (京都工芸繊維大学 元教授)
委員 檜垣 靖樹 (福岡大学 スポーツ科学部 教授)
委員 平田 耕造 (神戸女子大学 家政学部 名誉教授)
委員 廣田 孝子 (廣田アンチエイジング研究所 所長)
委員 福永 哲夫 (鹿屋体育大学 特任教授)
委員 藤本 繁夫 (大阪公立大学 名誉教授)
委員 吉岡 利忠 (医療法人三良会 村上新町病院 院長)

【研究の実施について】

人を被験者とする研究を行う場合は、学内の倫理委員会または倫理委員会がない場合は、これに準じる機関の事前承認を得たのちに実施すること。

【個人情報取扱いについて】

申請書、報告書に記載された個人情報については、選考審査等の当財団に関連する活動の範囲内で使用する。
また、採択された研究者（申請者、共同研究者を含む）の個人情報については、助成結果の公表時、および当財団ホームページへの掲載時等に使用する。

公益財団法人 石本記念デサントスポーツ科学振興財団
第45回(2023年度) 研究助成金交付申請書

(財団使用欄)

受付日	2022年 月 日
受付番号	

2022年 月 日 提出

申請者	フリガナ 氏名		機関名		
	生年月日		所属・職名		
申請者	自宅住所〒		所在地〒		
	TEL		TEL		
	E-mail		E-mail		
	研究倫理教育修了確認 (eAPRIN, eL CoRE, 大学研修など) <input type="checkbox"/> チェックを入力				
学歴および職歴 (10行以内)					
共同研究者 主たる研究者4名 共同研究者の記載 同意の確認要		氏名	所属	職名	分担課題
	1				
	2				
	3				
	4				
研究課題 (具体的に) (いずれかを選択)	※分野				
研究の背景と 目的					
研究計画 (対象と方法) (期待される結果)					
研究の特徴					
研究成果の 社会的貢献度					
当分野に関連する 申請者自身のこれ までの研究成果ま たは実績 機関誌名、論文名ま たは、研究報告、資 料等を簡潔書きで記 入願います。					
推薦者	機関名	所在地〒	職名	氏名	TEL

※半角カタカナは使用しないでください。